

事務局報告

平成18年度の学術発表会は、宍戸文男教授（福島県立医科大学放射線医学講座）のお世話で9月1日（金）、2日（土）の両日に福島ビューホテルで開催された。福島は言うまでもなく、本研究会の生みの親のお一人である故・松川 明教授が、昭和48年2月に第1回断層撮影法研究会（当時はこの名称であった）を開催されたゆかりの地であり、その後、昭和57年に第11回大会が木村和衛教授のもとで開催されており、今回の第35回大会はご当地福島での3回目の開催である。

今回の大会のメインテーマは「原点を顧みて、将来に向かおう」であり、3つのシンポジウムすなわち「断層画像診断法と治療との融合—その原点、現状、将来展望—」、「マルチスライスCTの原点、現状、将来展望」、「PETの臨床と臨床研究—その原点、現状、将来展望—」においてそれぞれ発表と活発な討論が行われた。このほかに教育講演として「MSCT、MRI時代に求められる循環器機能画像診断法」、「遠隔画像診断—商業サービス10年の経験について」、「脳MRI読影のピットホール：正常？異常？」、「DWIによる脳幹部病変の良悪性診断」の4題がとりあげられ、さらにランチョンセミナーとして「画像診断における放射線被曝—生物学的影響をどのように理解するか？」、「4次元CTの開発と有用性」の2題の発表があり、ワークショップ「PET/CT装置開発の現状」においては国内5社からそれぞれ最新の自社製品の紹介があった。

この中で、シンポジウムでは、メインテーマに沿って断層画像診断法と治療との融合、MDCT、PET診療の現状と将来展望について、それぞれ各種診断法の原点から将来展望にいたる広範な領域を各演者が要領よくまとめられて発表され、今後の研究発展の方向性について活発に論議されたのが印象的であった。特に断層撮影法の原点については、当時の技術的開発に携わった研究者のねらいにまで遡って議論することができ、現状から将来への方向性をも見据えて討議できたことは意義があった。この点では、宍戸大会長がメインテーマで取り上げた企画案がほぼかなえられたのではないかと思われた。

平成18年度断層映像研究会世話人会

日時：平成18年9月1日（金）13：00～14：00

場所：福島ビューホテル 2階 摺上

出席者：小川敏英、木村和衛、宍戸文男、高橋昭喜、高

橋元一郎、田中良明、福田国彦、藤井恭一、本田憲業、村山貞之、安河内浩、山田章吾（50音順）

議長：宍戸文男

議事：

1. 平成17年度の事業報告、決算報告、監査報告（藤井恭一、福田国彦両監事）が行われ、別紙のように承認された。
2. 庶務報告として、会員数は平成18年8月現在で362名（うち41名は特別会員、10名は功労会員）、会員動態は平成17年4月から平成18年3月の1年間に新規会員21名、退会23名である。会費納入状況は平成10年度以降の未納者分は延べ517名分（3,102千円）であった。
3. 平成18年度上半期の事業中間報告が行われた。
4. 平成19年度の事業計画、予算案が提案され、別紙のように承認された。
5. 平成18年8月31日（木）開催の編集委員会の報告が本田憲業編集委員長より行われた。

1) 断層映像研究会雑誌の編集状況および今後の編集方針について報告があった。

2) guest editorの企画による編集方針は今後も続けることとし、各号で特色を生かした論文を掲載する。

3) 今後の雑誌発行は、第33巻第3号は2006年12月に「特集：FPDによるコーンビームCTの進歩」(guest editor: 産業医大 興梠征典教授) 予定されており、第34巻第1号は2007年3月に第36回大会開催案内、演題募集と併せて発行の予定である。それ以降も引き続き年間3号発行する予定である。

4) 大会長は、次期（平成19年度）の第36回大会は大友邦教授（東京大学）、次々期（平成20年度）は本田浩教授（九州大学）である。次々々期（平成21年度）については数名の候補者があげられ、事務局から本人の意向を確認し決定することになった。

5) 研究会雑誌の電子ジャーナル化について議論され、当面は専用のホームページを立ち上げ、既発行分については論文の表題、著者名、所属、要旨を掲載するところから開始する。会員には会員番号（ID）とパスワードを提供し、論文の全文については会員のみ閲覧利用できるようにする、などの意見が出された。この場合の経費については、編集作業は従来どおりで、これとは別途にサーバーの維持管理費が必要である。電子ジャーナルになると、論文が受理された時点で公表されたとみなされ、掲載証明などが早く獲得できるとい

った利点がある。

6) 医学中央雑誌刊行会からの著者抄録の利用許諾の件について、データベースサービスとして著者抄録を転載する権利の許諾申請が出されたが、既存の(株)メテオインターゲートの運営するメディカルオンラインとの関係で問題がなければ承認することになった。

7) 編集顧問の交代の件で、鈴木謙三先生の代わりに吉田祥二先生が推挙された。さらに松本満臣先生が新たに編集顧問に推挙された。

6. 世話人異動に関して、阿部由直先生(弘前大)、松本満臣先生(博仁会第一病院)の辞退届けが出され承認された。新たに小野修一先生(弘前大)、細矢貴亮先生(山形大)、根本建二先生(山形大)、楫靖先生(獨協医大)、汲田伸一郎(日本医大)、長縄慎二先生(名大)、村上卓道先生(近畿大)が推挙された。

7. 特別会員として石垣武男氏が推挙された。

8. 次回の第36回大会は大友邦教授(東大)のお世話

で平成19年10月12日(金)、13日(土)の2日間、秋葉原コンベンションセンターで開催される。メインテーマは「学問の秋、画像スペクトラムを極める」を予定している。

9. 事務局の交代について、現在の田中良明(日大)が来年3月末に定年退職を迎えるので、その後の事務局を移管したいと提案があり、本田憲業教授(埼玉医大総合医療センター)に移管されることになった。

平成18年度断層映像研究会総会議事要旨

日時：平成18年9月1日(金)14:00~14:30

場所：福島ビューホテル 3階 吾妻

議事：穴戸文男大会長のもと議事が進められ、上記の世話人会報告および編集委員会報告が行われ、いずれも原案通り承認された。

(文責：事務局 田中良明)

1号議案：平成17年度事業報告及び庶務報告

1) 平成17年度事業報告

1. 総会

1回 平成17年10月15日(土)

東京慈恵会医科大学1号館3階講堂

2. 第34回断層映像研究会学術大会

平成17年10月15日(土)、16日(日)

学術大会長 福田 国彦(東京慈恵会医科大学)

3. 世話人会

1回 平成17年10月15日(土)

東京慈恵会医科大学

4. 編集委員会

1回 平成17年10月14日(金)

東京慈恵会医科大学

5. 研究会雑誌の発行

第32巻2号(H.17.6.30)発行

第32巻3号(H.17.9.30)発行

第33巻1号(H.18.3.31)発行

2) 庶務報告

資料1

2号議案：平成17年度収支決算報告ならびに監査結果報告

1) 収支決算報告

資料2

2) 藤井恭一、福田国彦監事より監査報告

3号議案：平成18年度上半期事業中間報告

1) 収支中間報告

資料3

4号議案：編集委員会報告

編集委員会

日時 平成18年8月31日(木)

場所 福島市：福島ビューホテル2階 摺上

検討内容報告

1. 断層映像研究会雑誌編集状況および今後の編集方針について

2. 庶務報告

1) 平成17年度事業報告、決算報告

2) 平成18年度事業中間報告

3) 平成19年度事業計画、予算(案)について

3. 電子ジャーナルについて

4. 世話人、特別会員、功労会員の推挙について

5. 次々々期(平成21年度)の大会長推薦について

6. その他

5号議案：平成19年度事業計画および予算案

1) 平成19年度 事業計画

1. 総会 1回

2. 学術発表会 1回

3. 世話人会 1回

4. 編集委員会 随時

5. 研究会雑誌の発行 3回

(うち一回は大会抄録号を兼ねる)

2)平成19年度予算書(案)

資料4

6号議案：世話人推薦の件

7号議案：特別会員推挙の件

8号議案：次々々期(平成21年度)の大会長推薦の件

9号議案：その他

資料1

庶務報告

1. 会員数(平成18年8月現在)

会 員 311名

特別会員 41名

功労会員 10名

合計会員数 362名

2. 会員動態(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

新規会員 21名

退会 23名

資料2-1

平成17年度収支決算報告書
(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

1. 収入の部				2. 支出の部			
項 目	予 算 額	決 算 額	差 額	項 目	予 算 額	決 算 額	差 額
会 費	1,600,000	1,791,000	△191,000	報 償 費	250,000	0	250,000
利 子	100	67	33	賃 金	0	0	0
雑 収 入	0	24,807	△24,807	旅 費	40,000	0	40,000
前年度繰越	800,000	929,156	△129,156	需 用 費	70,000	16,800	53,200
				役 務 費	120,000	93,250	26,750
				使用賃借料	10,000	0	10,000
				負担金及び補助金	1,500,000	1,402,500	97,500
				返 納 金	0	0	0
				予 備 費	50,000	0	50,000
				次年度繰越	360,100	1,232,480	△872,380
合 計	2,400,100	2,745,030	△344,930	合 計	2,400,100	2,745,030	△344,930

次年度繰越内訳

郵便振替口座

631,140円

郵便貯金総合通帳

176円

定期預金(三菱東京UFJ銀行)

400,672円

普通預金(三菱東京UFJ銀行)

200,492円

(平成18年3月31日現在)

計 1,232,480円

資料2-2

平成17年度収支決算報告明細書

1. 収入の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 会 費	1,791,000	
2. 利 子	67	定期預金 67 普通預金 0 郵便貯金総合通帳 0
3. 雑 収 入	24,807	会誌代
4. 前年度繰越金	929,156	
収入合計	2,745,030	

2. 支出の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 報 償 費	0	
2. 賃 金	0	
3. 旅 費	0	
4. 需 用 費	16,800	封筒作製代・事務用品代
5. 役 務 費	210 90,060 2,980 小計 93,250	振込手数料 切手、葉書代 宅急便送料
6. 使用賃借料	0	
7. 負担金及び補助金	1,102,500 300,000 小計 1,402,500	会誌発行費 第34回大会補助金
8. 返 納 金	0	
9. 予 備 費	0	
10. 次年度繰越金	1,232,480	
支出合計	2,745,030	

資料3-1

平成18年度上半期収支中間報告書
(平成18年4月1日～平成18年8月8日)

1. 収入の部				2. 支出の部			
項 目	予 算 額	決 算 額	差 額	項 目	予 算 額	決 算 額	差 額
会 費	1,600,000	232,000	1,368,000	報 償 費	200,000	0	200,000
利 子	100	8	92	賃 金	0	0	0
雑 収 入	6,000	62,142	△56,142	旅 費	30,000	0	30,000
前年度繰越	500,000	1,232,480	△732,480	需 用 費	40,000	500	39,500
				役 務 費	100,000	48,460	51,540
				使用賃借料	10,000	0	10,000
				負担金及び 補 助 金	1,500,000	552,000	948,000
				予 備 費	50,000	0	50,000
				次年度繰越	176,100	925,670	△749,570
合 計	2,106,100	1,526,630	579,445	合 計	2,106,100	1,526,630	579,470

上半期繰越内訳	郵便振替口座	454,640円
	郵便貯金総合通帳	176円
	定期預金(三菱東京UFJ銀行)	400,680円
	普通預金(三菱東京UFJ銀行)	70,174円

(平成18年8月8日現在)

計 925,670円

資料3-2

平成18年度上半期収支中間報告明細書

1. 収入の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 会 費	232,000	
2. 利 子	8	定期預金 8 普通預金 0 郵便貯金総合通帳 0
3. 雑 収 入	50,000 12,142 小計 62,142	木村和衛先生より寄付 著作権料
4. 前年度繰越金	1,232,480	
収入合計	1,526,630	

2. 支出の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 報 償 費	0	
2. 賃 金	0	
3. 旅 費	0	編集委員会旅費
4. 需 用 費	500	払込取扱票印字サービス代
5. 役 務 費	420 46,450 1,590 小計 48,460	振込手数料 切手・葉書代 宅急便送料
6. 使用賃借料	0	
7. 負担金及び補助金	0 252,000 300,000 小計 552,000	編集委員会補助金 会誌発行費 第35回大会補助金
8. 予 備 費	0	
9. 次年度繰越金	925,670	
支出合計	1,526,630	

資料4

平成19年度 予算書(案)
(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

収入の部

項 目	19年度予算額	18年度予算額	増 減
会費収入	1,700,000	1,600,000	100,000
利子	100	100	0
雑収入	20,000	6,000	14,000
前年度繰越金	1,100,000	500,000	600,000
収入合計	2,820,100	2,106,100	714,000

支出の部

項 目	19年度予算額	18年度予算額	増 減
報償費	200,000	200,000	0
賃金	0	0	0
旅費及び会合費	30,000	30,000	0
需用費	40,000	40,000	0
役務費	100,000	100,000	0
使用賃借料	10,000	10,000	0
負担金及び補助金	1,500,000	1,500,000	0
予備費	50,000	50,000	0
次年度繰越金	890,100	176,100	714,000
支出合計	2,820,100	2,106,100	714,000